

平成2年度 和歌山県文化賞

なかにしひさお
中西久夫 (筆名 神坂次郎)

住所：和歌山県和歌山市

出身地：和歌山県有田市

生年：昭和2年

■主な表彰歴

昭和50年 和歌山県文化奨励賞

昭和59年 地域文化功労者表彰(文部大臣)

昭和60年 和歌山県文化功労賞

◎業績及び経歴

昭和19年陸軍飛行学校卒業後、陸軍特別攻撃隊に参加。戦後は、俳優座演出部などに籍をおいた後、長谷川伸氏の知遇を得て昭和33年「新鷹会」同人となり、文筆活動に入る。

昭和33年第1回大衆文学賞(『鬼打ち猿丸』)などで徐々に頭角を現わし、同36年日本文芸家協会会員、同49年三田文学会会員となる。

その後も、昭和57年の第2回日本文芸大賞(『黒潮の岸辺』)、昭和62年度第1回大衆文学研究大賞(『縛られた巨人－南方熊楠の生涯－』)の受賞をはじめ、ベストセラー作品『元禄御豊奉行の日記』などを生み、日本文壇に確固たる地位を築いている。

作品は、単行本100冊以上に上り、『縛られた巨人－南方熊楠の生涯－』のほか、『紀州史散策』『走れオムンボス』『天鼓鳴りやまず』など、和歌山の人々を題材とした作品を多数執筆。また、『紀州の方言』の執筆など、郷土研究にも尽くされている。

本県に存在する日本を代表する作家として、執筆活動を通して、文化の向上・発展に尽くした功績は大きいものがある。